

中西 和音 (九州大学大学院数理学府 修士課程)

【講演概要】：

MAX-SAT とは SAT (充足可能性問題) の最適化版であり, 可能な限り多くの節を満たすことのできる変数への真偽値の割り当てを求める問題である. この問題は NP 困難であることが知られており, 一つの研究の方向性として近似アルゴリズムの研究がある. 本発表では, Poloczek et al. (SICOMP 2017)によって提案された MAX-SAT に対する 2つの乱択近似アルゴリズムの性能に関する理論的比較を行う.